



# みらいへつなごう ～ちようふのかんきよう～

ねんどぼん  
2022 年度版  
2023 年 3 月発行  
かんこうぶつとうろくばんごう  
刊行物登録番号  
2022 - 182

●発行：調布市環境部環境政策課  
●連絡先：電話 042-481-7086 (直通) FAX 042-481-7550  
メールアドレス：kankyou@city.chofu.lg.jp  
※市のホームページでも環境情報を提供しています。



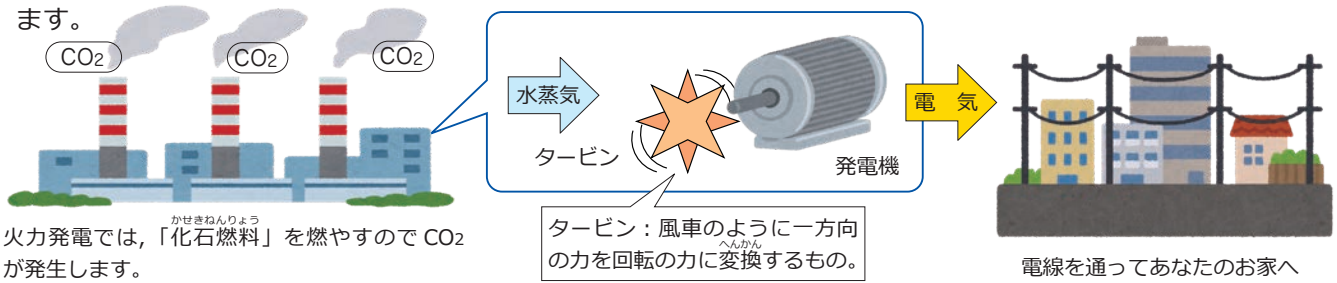
この情報誌は、小・中学生のみなさんに、調布市の環境をよりよく知っていただくことを目的に作成しています。

## ちようふし 調布市のみなんで力を合わせて、地球温暖化から地球を守ろう！

今、地球上では、地球温暖化の進行による気候の変化や、毎年のように大きな自然災害が発生するなど、気候変動の影響は身近な生活にまで及んでいます。将来も変わらず地球で生活していくため、私たち一人一人が、地球温暖化対策を行う必要があります。

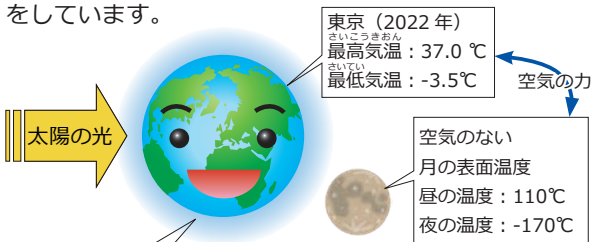
### 電気を作ると、CO<sub>2</sub> も一緒に作っている？

私たちが暮らしていくうえで、電気・ガスを使うことは欠かせません。家庭で使う電気は、発電所の発電機で作られます。発電機を回すために天然ガスや石炭を燃やし、水から水蒸気を作り発電機を回しています。



### CO<sub>2</sub>, 実は必要？でも・・・

CO<sub>2</sub> などの温室効果ガスは、地球を保温する服の役割をしています。



地球は、空気の間で守られていて、快適に過ごすことができます。CO<sub>2</sub> などの温室効果ガスは、太陽からもらった暖かさを逃がしにくくするため、太陽が当たっていない夜でも寒くなりすぎない！

化石燃料を燃やして、今よりもっと CO<sub>2</sub> が増えると、地球が無駄に厚着をしているのと同じで、適切な温度を保てなくなります。これが、地球温暖化です。

地球の気温が高くなると、干ばつの長期化などの大きな自然災害がおきたり、今まで育っていた農作物がとれなくなったりします。

そのため、CO<sub>2</sub> をこれ以上増やさないことが重要です。

CO<sub>2</sub> をこれ以上増えないようにするため「2050 年カーボンニュートラル」を目指すことが重要です。調布市では、「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、オール調布にさんかたんそはいしゅつじつしつで 2050 年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指しています。



宣言の全文を読んでみよう！  
調布市ゼロカーボンシティ宣言



### 身の回りの家電を調べてみよう！

家電には製品を示す型番や、製品の能力、消費電力が書いてあります。「消費電力」の数字が大きいほど、一度に多くの電気を使います。

ドライヤー

型式 XXX-AAA  
定格電圧 100V50Hz  
定格消費電力 1,200W

この数字が大きいほど、電気を大食いします。

※単位が違ったりするので注意！ 1,000W=1kW ≒ 10A

# 下水道のはたらきについて

調布市では、昭和47年（1972年）から下水道が使えるようになり、令和4年（2022年）に50周年を迎えました。

下水道は普段目にみえないところにあるので地味なイメージを持たれがちですが、私たちの生活になくてはならない存在なのです。

トイレやお風呂、洗濯などで使った汚れた水（このような水を汚水といいます）は、地下にある下水道管を通して下水処理場まで運ばれ、きれいな水にしてから海や川に戻されます。

昔の日本では、うんちやおしっこを農作物の肥料として使っていたため、下水道は必要とされていませんでした。ところが明治時代になって、東京をはじめと

した一部の地域に多くの人が集まり、建物や道路などがどんどんつくられ都市化が進んだ結果、大雨で行き場を失った雨水によって家が水浸しになるなどの浸水被害がでたり、溜まった汚水が原因でコレラなどの伝染病がはやりやすくなるようになってしまいました。

そこで、明治時代に汚水を流すための本格的な下水道が現在の神田駅の近くにつくられました。

下水道が今のように各家庭に行きわたるまでは、工場などからの汚水が直接川に流されており、川や海の汚れはとてもひどいものでした。今では、下水道が整備されて、昔と比べて川もきれいになりました。これからも下水道は、きれいな自然とみなさんの健康をまもっていきます！



し尿処理のパキュームカー



下水道工事のようす



調布市が作成した公共下水道パンフレット(昭和44年)

## 水循環とは？

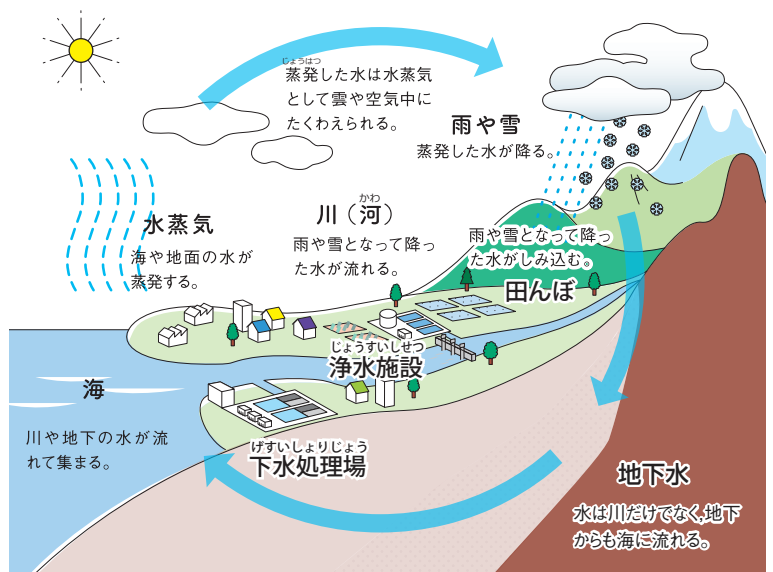
地球上の水は、海水や河川の水として常に同じ場所に留まっているのではなく、太陽のエネルギーによって海水や地表面の水が蒸発し、上空で雲になり、やがて雨や雪になって地表面に降り、それが次第に集まり川となって海に至るといったように、絶えず循環しています。これを「水循環」といいます。

飲み水やお風呂など私たちが毎日使っている水は、雨や雪として大地に降り、川となって流れ集まったもので、使った水はまた流れて海に流れ込んでいます。また、私たちは水を利用するだけでなく、美しい水の景観に癒やされたり、水辺の自然とのふれあいによって豊かな感性を育んだり、さまざまな形で水から恩恵を受けています。

この水循環が崩れると、洪水や水不足、水質の悪化など様々なトラブルが起こってしまいます。調布市では、地域の水循環を健全に保つため、川などの水辺環境をきれいに保つことや湧き水を導くことなどに取り組んでいます。

水循環について調べたり、節水を行ったり、川

をきれいにするイベントに参加したり…これからもきれいで豊かな水を使い続けるために、できることに取り組んでみませんか？



水循環の流れ



# 環境について学んでみよう！

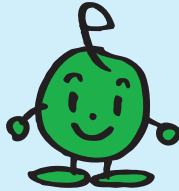
調布市では、みんなに調布の環境のよさを伝え、市内の環境を大切にすることを高まるような活動を行っています。その取組の一つとして、小中学生向けのイベントや活動プログラムを行って、環境について学び、考えることができるような場を作っています。

## 調布子どもエコクラブ

河川や緑地などでの自然体験を通じて環境を学ぶ、子どもたちの環境クラブです。毎年4月に会員を募集し、年間7回程度開催しています。

### ～2022年度開催内容～

- 第1回 田植え体験
- 第2回 藍染め体験
- 第3回 野川でガサガサ
- 第4回 昆虫採集
- 第5回 稲刈り体験
- 第6回 火起こし体験
- 第7回 葉脈標本作り



## 葉脈標本作り

水酸化ナトリウムで煮たツバキやヒイラギの葉を、ガラス板と歯ブラシを使って葉肉を取り除いて、葉脈だけを取り出します。できた葉脈標本を赤・黄・緑色に染めてパウチし、オリジナルの葉を作りました。

※水酸化ナトリウム…強いアルカリ性で、葉肉を軟らかくしたり、溶かしたりする働きがあります。



## 主な活動の紹介

## 田植え体験、稲刈り体験

柏野小学校北側の公有地（田んぼ）で、田植え体験や稲刈り体験を行いました。5月に稲の苗を手作業で植え、9月には、育った稲をのこぎり鎌で刈取りました。



## 多摩川自然情報館の月別イベント

多摩川自然情報館では、多摩川を中心とした自然環境を学べるイベントを、年間10回程度開催しています。

### 2022年度の月別イベント

月	タイトル	対象
5月	多摩川植物観察会	18歳以上
6月	水生生物と水質との関係を調査しよう	小学生
7月	多摩川の魚類観察会	小学生
8月	・虫取り名人と昆虫採集をしよう！ ・多摩川の魚観察会	満3歳～小学3年生 小学生
9月	多摩川子ども探検隊	満3歳～小学3年生
10月	多摩川植物観察会	18歳以上
11月	多摩川子ども探検隊	満3歳～小学3年生
1月	野鳥写真家に学ぶ、多摩川の冬鳥の観察と写真撮影のコツ	18歳以上
3月	多摩川の岩石の特徴を調べよう	小学生

魚について、先生の解説を聞き、先生と一緒に多摩川で魚やエビをタモ網で採取して、名前を調べました。また、投網の実演を行いました。



8月 多摩川の魚観察会

多摩川を歩いて回りながら、生息・生育する動植物について解説しました。また、多摩川で見られた秋の植物や昆虫を持ち帰り、外見の特徴をルーペで観察し、スケッチなどを行いました。



9月 多摩川子ども探検隊

# ちょうふしたまがわしぜんじょうほうかん 調布市多摩川自然情報館に遊びに来ませんか

調布市多摩川自然情報館は、多摩川を中心とした市内の自然環境を紹介する、子どもから大人まで楽しく学べる環境学習施設です。

館内には多摩川の魚や植物、昆虫などの実物が見られる展示室や、多摩川のミニ生態系を再現したいきものプール、自然環境に関する本をそろえた学習室があります。土日祝日は解説員がいます。

また、情報館内のようすを360°すみずみまで紹介するバーチャルツアーを行っています。ぜひ見てください。



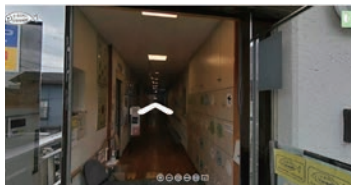
情報館  
バーチャル  
ツアーへ

## 情報館のユーチューブチャンネルを開設しました

情報館で行ったイベントのようすや市内の自然や生きもののようすを配信しています。



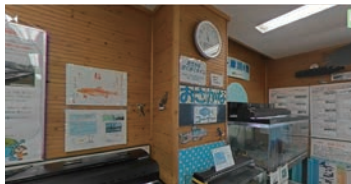
情報館 YouTubeへ



入口のようす。その先に学習室や展示室があるよ。



学習室のようす。どんな本が置いてあるかが分かるよ。



展示室のようす。水槽の魚の動画が見られるよ。



水槽の中のギバチの動画が見られるよ。



## ツイッターでも発信してるよ!

調布市内を中心とした自然環境に関する小話等、中の人々がゆるゆる〜くつぶやきます。



情報館  
ツイッターへ

### ちょうふしたまがわしぜんじょうほうかん 調布市多摩川自然情報館

調布市染地 3-8-26

開館時間: 午前9時～午後5時(土・日、祝日も開館しています。)

【お問い合わせ】

- ・当館運営受託事業者 (株)セルコ 03-3406-1724 (平日: 午前10時～午後5時30分)
- ・当館携帯電話 080-2087-9009 (土・日、祝日(年末年始を除く): 午前9時～午後5時)
- ・調布市環境部環境政策課 042-481-7086 (平日: 午前8時30分～午後5時15分)

公共交通機関、自転車をご利用ください。(駐輪場があります。)

#### ●交通アクセス

調布駅南口バス乗り場

- ④「多摩川住宅西」行き(調45・46系統)に乗り「桜堤通り」下車徒歩約2分(約0.1km)



※マスクの着用や手指の消毒など、感染防止対策に引き続きご協力をお願いします。